



健やか豆知識

第9回

Q. インフルエンザにかかったら、
何日目から学校に行っ
てよいでしょうか。

- I 解熱した翌日から II 解熱して3日目から III 解熱して5日目から



インフルエンザワクチンで発症と重症化を予防

毎年、秋口になるとインフルエンザの流行予測がニュースの話題となり、「そろそろワクチンの予防接種を」と考える人も少なくありません。インフルエンザワクチンを接種する目的は、完全な予防というより「ウイルスに感染しても発症を抑えること」、「発症しても重症化させないこと」です。特に糖尿病などの基礎疾患のある人、高齢者、乳幼児は重症化しやすいので、シーズン前にワクチン接種をしておいたほうがよいでしょう。インフルエンザワクチンは毎年接種することで、より抗体がつきやすくなります。子どもは生まれてからの年数が少ないので、大人よりも回数を増やして抗体を多く作っていくために2回接種します。

インフルエンザウイルスは毎年少しずつ性質を変化させて流行します。ワクチンはその年に流行が予想されるインフルエンザウイルスの抗原が入っているので、毎年の接種が必要です。

インフルエンザにかかったら、熱が下がったあとも2日程度はほかの人にうつす可能性がありますので、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」外出を控えましょう。なお、厚生労働省の見解により治癒証明書は、平成30年度より必ずしも必要ではなくなりました。

毎年、飛沫感染と接触感染で猛威をふるうインフルエンザ。こまめな手洗いとマスク着用が大切です。そのほか、バランスのよい食事と十分な睡眠をとり、感染症にかかりにくい生活環境、体調管理を心がけましょう。

監修 堀越 裕歩 小児感染症科医

< II 堀越 >

高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

さらに詳しい情報は
ホームページで! <<<

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください